令和6年7月22日（月）第39号

家庭教育応援NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所　総務社会教育課

親子の学び応援講座　～只見中学校区～

７月１２日（金）、只見中学校区において**「親子の学び応援講座」**を行いました。子供たちのスマートフォン所持率や、ゲーム・インターネットに関わる時間は年々増加傾向にあります。この現状を受けて、インターネットやスマートフォンが心身にもたらす影響や危険性、子供たちが自己を制御する術、保護者の関わり方等について理解を深める目的で開催しました。西郷村で「けやき心の発達診療所」を開所されている角田智哉様を講師にお迎えしてご講演いただきました。ゲームやＳＮＳを利用する上でのメリットとデメリット、はまりやすい子の特徴や環境、よりよい付き合い方等について、子供側と保護者側の視点を交えながら具体的にお話しいただきました。

冒頭での先生からの問い　「今すぐ 1000 円もらう　と　1ヶ月後に 2000 円もらう　のどちらを選びますか？」
→　回答によって　ある傾向が　・・・

＜生徒の感想より＞

○　ゲームのよいところと向き合い方、依存症の危険性とそうならない予防法について知ることができた。
○　結構自分にも当てはまることもたくさんあったから、ゲーム依存にならないように気をつけたい。
○「全くやらない」はできないから、時間やルールを決めて親ともけんかをしないようにしてゲームをしたい。
○　自分が依存しやすいかどうかを考え、適切な距離を保って利用していきたいと思った。高校に進学したら親元を離れるかもしれないので、今のうちに正しい習慣を身につけたいと思った。
○　ゲーム依存症を防ぐためには、ゲーム以外に好きなものを見つけることも重要だということが分かった。
○　子供側のことだけでなく、親の注意の仕方も知ることができてよかったです。

＜保護者の感想より＞

○　今、子供たちに一番聞いてほしいテーマと内容で、とてもよかった。
○「使わない」ではなくどのように付き合っていくかという前向きな内容の講座であり、今後の参考になった。
○　ＳＮＳの扱いは特に厄介だと感じている。この先、娘にはよりよい人生を送ってほしいので、ＳＮＳに関しては注意していこうと思う。
○　改めて特効薬はなく、家庭の力による部分が大きいなと感じた。
○　自分もスマホやゲームが好きな中、スマホやゲームは悪だ、子にやらせている親は悪だと言われている気がしていた。今日の講演でそういう考え方でなくてもいいと教えていただいたような気がする。

冒頭での問いに対して「今すぐ1000円もらう」を選んだ子は「１ヶ月後に2000円もらう」を選んだ子より、はまりやすい傾向にあるということでした。角田先生の講演では、「ゲームは大人もしていること」「ほどほどが大切」「禁止や制限でコントロールは身につかない」「やるなではなくゲーム以外にも何か楽しめるものを見つけることが大切」という言葉が印象的でした。学校では子供たちにタブレットの使い方や情報モラルに関する内容を指導しています。家庭においても、情報機器を**「全く使用しない」のではなく**、メリットとデメリットを把握した上で、情報機器に**「依存しない」習慣と環境を**、子供と親が**合意形成した上で一緒に**つくっていくことが大切ですね。参加者にとって多くの気付きと学びを得た有意義な親子の学び応援講座でした。